

連結行政コスト計算書

自令和 3年 4月 1日

至令和 4年 3月31日

(単位：千円)

科目	金額
【純経常行政コスト】	
経常費用	10,321,809
業務費用	6,758,803
人件費	1,587,637
職員給与費	1,417,598
賞与等引当金繰入額	89,403
退職手当引当金繰入額	4,265
その他	76,372
物件費等	5,095,027
物件費	2,455,181
維持補修費	356,427
減価償却費	2,282,993
その他	425
その他の業務費用	76,138
支払利息	38,278
徴収不能引当金繰入額	503
その他	37,357
移転費用	3,563,006
補助金等	1,913,538
社会保障給付	1,638,969
他会計への繰出金	-
その他	10,499
経常収益	550,136
使用料及び手数料	285,589
その他	264,547
純経常行政コスト	9,771,673
【純行政コスト】	
臨時損失	-
災害復旧事業費	-
資産除売却損	-
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	77,425
資産売却益	3,910
その他	73,515
純行政コスト	9,694,248

連結純資産変動計算書

自令和3年4月1日
至令和4年3月31日

(単位：千円)

科目	合計	固定資産等形成分		
		固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	45,683,464	57,345,856	-11,662,392	-
純行政コスト(△)	-9,694,248		-9,694,248	-
財源	9,160,490		9,160,490	-
税収等	7,405,896		7,405,896	-
国県等補助金	1,754,594		1,754,594	-
本年度差額	-533,758		-533,758	
固定資産等の変動(内部変動)		-909,011	909,011	
有形固定資産等の増加		722,175	-722,175	
有形固定資産等の減少		-2,262,963	2,262,963	
貸付金・基金等の増加		1,698,662	-1,698,662	
貸付金・基金等の減少		-1,066,885	1,066,885	
資産評価差額	-	-		
無償所管換等	1,111,889	1,111,889		
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
比例連結割合変更に伴う差額	1,505	-18,595	20,101	-
その他	-258,102	13,053	-271,155	
本年度純資産変動額	321,535	197,336	124,199	-
本年度末純資産残高	46,004,999	57,543,192	-11,538,193	-

連結資金収支計算書

自令和 3年4月 1日

至令和 4年3月31日

(単位：千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	8,026,999
業務費用支出	4,463,993
人件費支出	1,576,354
物件費等支出	2,812,035
支払利息支出	38,278
その他の支出	37,326
移転費用支出	3,563,006
補助金等支出	1,913,538
社会保障給付支出	1,638,969
他会計への繰出支出	-
その他の支出	10,499
業務収入	9,571,895
税込等収入	7,393,673
国県等補助金収入	1,649,996
使用料及び手数料収入	284,999
その他の収入	243,227
臨時支出	
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	
臨時収入	2,181
国県等補助金収入	1,439
その他の収入	742
業務活動収支合計	1,547,076
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,688,491
公共施設等整備費支出	716,622
基金積立金支出	1,705,301
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	266,568
その他の支出	-
投資活動収入	1,247,824
国県等補助金収入	103,159
基金取崩収入	694,811
貸付金元金回収収入	295,627
資産売却収入	75,131
その他の収入	79,097
投資活動収支合計	-1,440,667
【財務活動収支】	
財務活動支出	1,059,379
地方債償還支出	1,059,378
その他の支出	1
財務活動収入	652,405
地方債発行収入	650,549
その他の収入	1,856
財務活動収支合計	-406,974
本年度資金収支額	-300,565
前年度末資金残高	641,410
比例連結割合変更に伴う差額	1,076
本年度末資金残高	341,922
前年度末歳計外現金残高	32,231
本年度歳計外現金増減額	-1,711
本年度末歳計外現金残高	30,520
本年度末現金預金残高	372,441

連結財務書類における注記

1. 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

① 有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの

備忘価格1円で記載

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路等の敷地については、備忘価額1円と
しています。

② 無形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有形固定資産等の減価償却の方法

① 有形固定資産……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物(事業用資産)…10年～50年

建物(インフラ資産)…15年～50年

工作物(事業用資産)…8年～20年

工作物(インフラ資産)…10年～75年

物品…3年～15年

② 無形固定資産……………定額法

(ソフトウェアについては、当町における見込利用期間(5年)に基づく定額法によっています。)

(3) 引当金の計上基準及び算定方法

① 徴収不能引当金

未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。

長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上して
います。

② 退職手当引当金

期末自己都合要支給額を計上しています。

③ 賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額
について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(4) 資金収支計算書における資金の範囲

現金(手許現金及び要求払預金)

なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(5) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

物品の計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が 50 万円(美術品は 300 万円)以上の場合に資産として計上しています。

2. 重要な会計方針の変更等

該当事項はありません。

3. 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 偶発債務

該当事項はありません。

5. 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

① 連結財務書類の対象範囲は次のとおりです。

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、北十勝2町環境衛生処理組合、とがち広域消防事務組合、十勝圏複合事務組合、北海道後期高齢者医療広域連合、北海道町村議会議員公務災害補償等組合、北海道市町村備荒資金組合

② 地方自治法第 235 条の 5 に基づく出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

③ 千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(2) 貸借対照表に係る事項

該当事項はありません。

(3) 行政コスト計算書に係る事項

該当事項はありません。

(4) 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分(不足分)の内容

① 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

② 余剰分(不足分)

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(5) 資金収支計算書に係る事項

① 基礎的財政収支 1,155,177 千円

② 地方自治法第 235 条の 4 第 1 項に規定する歳入歳出に属する現金としています。